

USHIOKA NEWS 2007

Topics1 史上初。ホームカミングデー in 追高

遡ること、1年半前。2005年11月12日。空の色は秋空から冬の空へとしだいに変わっていく中で追浜高校史上初となる「ホームカミングデー」が開催されました。ホームカミングというのだから会場はモチロン追浜高校。学校のご協力をいただき、卒業生に〇年ぶり(人それぞれですが)に追高を訪れてもらおうという企画です。お天気のよい穏やかな日で、友達同士や家族連れの方々に多数おいでいただきました。ゲストの方は、何年ぶり、ゲストによっては何十年ぶりに入る懐かしい教室や廊下を当時の仲間と一緒に歩き回り、あちこちの教室から笑い声が聞こえてきました。

①やっぱり高校時代と仲間達と。けど予想できなかったのは…

今回のホームカミングデーで、我々、実行委員会が予想していなかったのは、"ご家族で来場された方"でした。

お子さんを連れて、「お父さんは昔なあ…」なーんて。思わずちょっと強がってみたりして。



②等身大パネル。そして、そこには…

元追浜高校美術科の教諭で、現在は写真家として活躍されている高橋ジュンコさんが、98年に発表された、追浜高校の学園生活と生徒達の写真をまとめた写真集「スクールデイズ」(新潮社)から印象に残った写真をピックアップして、等身大のパネルで提供してくださいました。一室のほとんど埋め尽くすパネルにゲストは終始"思い出話"で。そして、そこでパネルを見る友達の姿は、まさしくあの頃の等身大のアイツだった。

③食堂オープン！限定メニューで大盛況

今回のカミングデーでは、多数のご要望を受け食堂を臨時にオープンして頂きました。うどんやカレー、鳥天丼など現在もあるメニューの他に復刻的な限定メニューの登場などで見事完売。

そして記念グッズの販売もありました。胸に校章の入ったTシャツ(各学年カラー3色)、校歌の歌詞入りボールペン、校歌CD、追高せんべい、記念カステラなどコチラの販売も好調でした。



『門を潜ると懐かしさが込み上げる。何年振りであろう。私と主人は3期生、姉は1期生である。校舎をそぞろ歩き、昔のアルバムにお下げ髪を見つけ、四十年という歳月を忘れ、制服姿の追高生とキャッキャ、すっかり高校生気分を満喫した。屋上からの眺望は紛れもなく昔日の野島、鷹取川。一瞬にしてあの頃の風、あの時の夕焼けの茜色が甦った。瞬く間に過ぎ去ってしまった三年間。でも確実に自分の人生に足跡を残している三年間を感じた。』

3期生 平井 なほみさん

Topics2 うしお会 40周年記念パーティー

ホームカミングデーの熱は冷めることなく、そのまま夜のパーティーへとなだれ込んでいきました。 「昼は高校で想い出を」。「夜はパーティーで盛り上がって」こんな追高満喫デーはかつて無かったでしょう。 会場は、よこすか平安閣。そもそもこの夜の部の目的は、1期から41期1万5000人もの膨大な卒業生を抱える追浜高校の「タテのつながりを増やそう」ということでした。

ジッサイのところ、タテの関係が増えたかどうかはわかりませんが、先輩方の様々な武勇伝には感動でした。

①伝統復活！フォークダンス

追高名物の“アレ”が復活しました。開校から現在44期生に渡るまでみんな体験してきたフォークダンス。以前は何かについてはフォークダンスだったそうですが、44期生となる現在では各行事の後夜祭に限って行っているそう。 そこで、匠のチカラによって緊急復活。会場全体を埋め尽くす先輩、後輩、人々…が一丸となって手をつないでダンスを踊っていました。ここでは本当にタテとヨコのつながりができたようです。

②衝撃！！演武のディープインパクト！！

先輩方による演武を披露して頂きました。演武とは武芸の型を演じることで、普段は馴染みのないこの演武ですが、生で見るとこの迫力が伝わってきました。

③スライドムービーで綴った追高ヒストリー

追高がまだサラ地だったあの頃から、校門の木がこんなに大きくなる今現在まで、秘密の場所に厳重に保管されていた追高の写真を大公開！



2005年11月12日にホームカミングデー in 追高というイベントがあり、昼の部は追浜高校の開放、夜の部では平安閣での懇親会がありました。高校開放では校舎に入れて教室も確保しており、久しぶりの友達と教室で談笑(^_^)

とても懐かしく楽しい企画でした。夜の部ではなんと追浜名物のフォークダンスが復活！世代を超えた大きな輪ができて、青春時代に戻ったかのような楽しい時間を過ごさせていただきました。

34期生 土肥 毅さん

一昨年の11月に追浜高校で、うしお会40周年記念行事として、ホームカミングデーが開催されました。私は、実行委員会の一員として、一年ほど前から準備をしてきましたが、当日を迎えるまで、どれくらいの方が来てくれるか不安でした。

当日は、天候にも恵まれ、想像していた以上の方々に来ていただき、大変嬉しかったです。なかでも、お子さんに母校を案内している家族連れの方の笑顔がとても印象的でした。

さて、今回の目玉企画といえば、学食の特別オープンでした。学生時代にはよく利用していた私ですが、あれほど賑わっていたのは記憶に無く、お休みにもかかわらず快く引き受けていただいたお店の方に感謝です。

最後に、今回の学校開放は、校長先生をはじめ先生方のご理解とご協力により実現したと思います。「また追高にみなさんと集まりたい」と思えた一日を提供していただき、本当にありがとうございました。

26期生 島崎 恭光さん

40周年記念事業を終えて

いつない暖冬に、過ごしやすさを感じながらも、これも地球温暖化とその生態系への影響に危惧を覚えずにはいられません。子どもの頃、冬はもっと寒かった覚えがあります。外が寒いから家の暖かさがありがたく、「ただいま」と帰った時の、母の「おかえり」は一段と嬉しかったように記憶しています。

いろいろと懐かしむことの増える中、うしお会も満40年を過ぎました。ここ10年を追浜に暮らし、うしお会その他のことで追高を訪れることがしばしばですので、追高という場所に対しては懐かしさを感じることはそれほどありませんが、何かのきっかけがおよそ四半世紀前のことと思い出させてくれることはあります。

40年周記念事業として行った「追高ホームカミングデー」は、まさにそのきっかけでした。学校のご協力をいただき、卒業生にとって懐かしの追高を一日開放していただき、私もとても楽しかったです。教室の場所はここだつたかな、学食にこんなメニューがあったなあ…などなど。また、在学中は行ったことのなかった屋上へ上がり、県から国へ返還されたグラウンドの一部を眺めました。このいきさつについては過去のうしお会会報で紹介した通りですが、あれから何年もの間、ただの空き地として何も使われていないこの土地に、「だったら使わせてくれればいいのに！」と、国や県の教育に対する姿勢を疑うばかりです。

さて、うしお会もご多分に漏れず少子化のあおりを受け、ご入会時にお納めいただく5,500円の終身会費と、15,000名を超えた会員数とのバランスが大変厳しいものとなってきております。この状態を乗り切るのに必要なのは、会員皆様の愛校心に他なりません。どうぞ、心の片隅にうしお会！今後ともよろしくお願いいたします。

追浜高校うしお会会長 小室卓重

Topics3 40期生成人祝賀パーティー07

今年の1月8日は「成人の日」でした。期待通りの快晴に心躍らせつつ成人式の会場には新成人であふれかえっていました。そして、その夜は横須賀トリニティにて追高成人祝賀会が開催されました。

会場には約200名もの同級生が集結して、仲間で恩師を囲んで賑やかな雰囲気で会がスタートしました。

会の中盤では、在学時代の写真と名言で作られたスライドムービーが公開されて、笑い声が絶えなかった。

参加者の中には、「これからも継続してこのような会を開いて欲しい」といった声も多く、今後の40期生のつながりを一層と深めた会となった。

現在、40期生は20才。
それぞれの学校で勉強している者、就職して社会人として活躍している者、夢を追いかけている人。全員違った場所で自分自身のチカラを確実に育てている。
しかしいつまでも原点はそこそこ追浜高校にあるということは、忘れてはいないだろう。



— 同窓会のデータ管理について —

昨年3月まで同窓会の会員データと会報の発行作業を(株)廣済堂にお願いしてきましたが、廣済堂より次のような主旨の手紙が配達されてきました。

- 2005年4月に施行された個人情報保護法により、データ内容の正確性の確保や安全管理措置等が重要となったこと。
- 今後廣済堂で引き続き管理する場合は、安全管理措置や開示・利用停止等対応窓口の設置などを付加サービスとした有償管理が望ましいこと。
- 3月中に有償管理・破棄・返却のいずれかを回答すること。

有償管理費用 :

データ管理年間保管料(個人情報保護法対応サービス付)	210,000円
データ管理年間保管料(管理のみ)	52,500円

この通知について、常任幹事会で検討しましたが、

- ①この会社が都内にあるため、連絡は電話・ファックスを通してしか行えず、ここ数年は迅速に対応されているという実感がもてないこと。
- ②うしお会の年間収入は、主に新会員の終身会費(昨年度132万:5500円×240人:今春は237人を予定)で成立しているが、前回の会報発行には約150万円(郵送費込)かかり、年間21万円の出費は2年に1度の会報の発行も無理になるかもしれません。

<u>現在の主な支出</u>	学校行事への助成(体育祭・文化祭)	5万円×2=10万円
	関東大会以上の大会への祝い金	1回 2万円
	学年単位の同窓会への補助	1回 3万円

上記のことを踏まえて、データの管理・会報の発行作業ともに常任幹事会で行おうと決めました。そして、昨年5月に廣済堂よりデータの返却を受け、12月にはデータの変更作業を常任幹事会メンバーで終えました。今回の会報は、原稿の依頼や割付だけではなく、袋詰め作業や発送作業も幹事の皆さんがなされました。会報発行予算は135万円とされています。有志の方の手作業に頼る部分が増えたので、ますます多くの方にお手伝いいただくことが必要になっています。労力・金銭的な援助・・・いずれでもお手伝いいただけたらと思います。原則毎月第二土曜に常任幹事会を行いますが、

今後は ◆常任幹事会 4月14日(土) 2時 5月12日(土) 2時
◆幹事会 6月9日(土) 2時(今後の体制や活動内容を決定します。)
ぜひおいでいただけたらと思います。

また、活動費の援助をしていただける方は以下の口座に期とお名前をご記入の上、
お振り込みいただけると幸いです。

口座番号 湘南信用金庫追浜支店
普通 0119610 県立追浜高等学校同窓会

(湘南信用金庫からの振込み手数料は無料です)

校内幹事 春木直美

Issued

県立追浜高校 同窓会事務局

神奈川県横須賀市夏島町13 TEL:046-865-4174 FAX:046-865-9891